

GIGAスクール構想のもとでの 中学校技術・家庭科（家庭分野）の指導について

GIGAスクール構想のもとでの中学校技術・家庭科 (家庭分野) の指導においてICTを活用する際のポイント

家庭分野で育成を目指す資質・能力とICT活用の関係性を理解する

家庭分野の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、**よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力**を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能

家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、**生活の自立に必要な基礎的な理解**を図るとともに、それらに係る**技能を身に付ける**ようにする。

思考力、判断力、表現力等

家族・家庭や地域における**生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。**

学びに向かう力、人間性等

自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、**よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。**

コンピュータや情報通信ネットワークの活用

主体的・対話的で深い学びを実現するためには、コンピュータや情報通信ネットワークを、**生徒の思考の過程や結果を可視化したり、大勢の考えを瞬時に共有化したり、情報を収集し編集することを繰り返し行い試行錯誤したりするなどの学習場面**において、積極的に活用することが求められる。

家庭分野では、**課題解決に向けて計画を立てる場面**において、**情報通信ネットワークを活用して調べたり、実践を評価・改善する場面**において、**コンピュータを活用して結果をまとめ、発表したりする活動**が考えられる。

GIGAスクール構想のもとでの中学校技術・家庭科 (家庭分野) の指導においてICTを活用する際のポイント

一連の学習過程の中で効果的にICTを活用する

生活の課題
発見

解決方法の
検討と計画

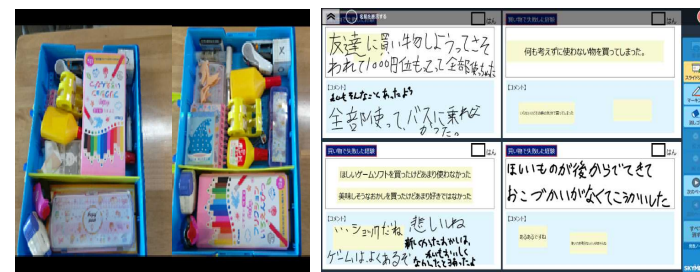
課題解決に向けた
実践活動

実践活動の
評価・改善

家庭・地域
での実践

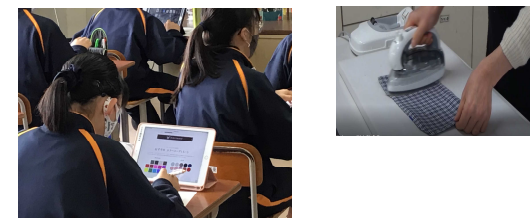
生活を見つめ、生活の中から問題を見だし、解決すべき課題を設定する場面

- 撮影しておいた生活事象の前後の写真や動画等を同時に閲覧することにより、生活の中にある問題を見いだしたり、一人一人の知的好奇心を喚起したりする。また、一人一人の問題意識や気づきをメモに入力し、データを共有することで、課題設定につなげる。



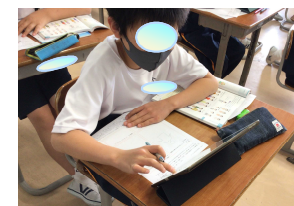
生活に関わる知識及び技能を習得し、解決方法を検討する場面

- 調理や製作における作業工程等をクラウド上に保存した動画のURLを子供たちに一斉送信することにより、情報を共有するとともに、情報を一人一人が端末に保存し、繰り返し動画を閲覧することで、知識及び技能の習得につなげる。



解決の見通しをもち、計画を立てる場面

- クラウド上に保存してある過去の作品や作り方の詳細な写真や動画データを繰り返し閲覧し、活用することにより、一人一人の調理・製作等の計画の立案につなげる。



GIGAスクール構想のもとでの中学校技術・家庭科 (家庭分野) の指導においてICTを活用する際のポイント

一連の学習過程の中で効果的にICTを活用する

生活の課題
発見

解決方法の
検討と計画

課題解決に向け
た実践活動

実践活動の
評価・改善

家庭・地域
での実践

生活に関わる知識及び技能を活用して調理・製作等の実習や調査・交流活動などを行う場面

- 各自が収集した情報（作品等の写真，動画データ）を保存することにより，それらを活用して解決方法を検討できるようにする。
- 試行錯誤した足跡を残すことで，自己の変容を自覚できるようにする。
- 互いの実習する様子を撮影し保存することで，各自の技能や言動を可視化し，技能の習得状況の把握や自己評価・改善に生かすことができるようにする。

実践した結果を評価・改善したり，改善策を検討したりする場面

- 撮影した動画により，自己の実習等の様子（言動）を振り返り，自己理解や自己評価・改善に生かすことができるようにする。
- 課題の振り返りを保存することで，自己の成長や思考の変容の様子を確認することができるようにする。

家庭や地域での実践活動を振り返り，評価・改善する場面

- 家庭や地域での実践の様子について，写真や動画での撮影，保護者からのコメントなどを保存し，その情報を共有することで，具体的な説明につなげたり，実践の改善に生かしたりすることができるようにする。
- 学習支援ソフトの一覧表示する機能を活用することで，自己評価，相互評価に生かすことができるようにする。

